

競技・審判上の注意事項

- 1 A この大会は、(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規定並び、公認審判員規定により行います。
今大会の大会運営規則
 - ア ポイントは、準々決勝までの試合は、15点(最大21点) 2ゲーム先取の3ゲームで行うゲーム中(8点)のインターバルは、行いません。
ゲーム間のインターバルは、120秒以内とする
但し、準決勝・三決・決勝は、正規ルールで行います
 - イ 選手は、サーブの高さで確認用に
上衣前面、115cmの所に目印を付けて参加してください。
- B 給水やタオルの使用については、必ず主審の許可を得て下さい。
飲み物(フタのできる容器)は、コートサイドの所定の場所で各自持参のカバン中に入れてください。
飲み物は、フロアに直接置かないようにしてください。
- C **今大会は練習時間は設けておりません**
各試合で、主審が準備出来るまでの時間は対戦相手との練習は可とします
大会で使用のシャトルは練習では使用禁止です、各自用意してください。
- D 試合の線審は、そのコートで試合終了した選手で行ってください。
初回線審は各チームで用意してください。
勝者は、次の試合の準備のために交代する場合は、そのチームで用意してください。
準決勝以降の試合については、後日ダブルス戦の日にて行います。
- E 試合が連続する場合、前試合のスコアーシートの終了時刻から10分間をあける
- 2 A 主審は、放送で案内されたら、審判用紙等を受け取り、担当コートへ
行き、準備(スコアーシートの確認と各箇所の記入)をしてください。
- B 主審は、試合を行う選手の氏名の確認をし、背面のゼッケンで
氏名・所属チーム名が合っているか、必ず実施して下さい。
文字の大きさを6cm～10cmの高さで確認してください。
- C 主審は、その試合の線審のイスを確認し、正しい位置での指導を行って下さい。
- D 主審がインターバル中「20秒」とコールしたら
監督・コーチはコートを離れ、選手はコートに入る事。
- E 主審は、試合が終了したら、**終了時間**を記入し、**勝者サイン**を勝者に必ずしてもらう。
- F 各団体よりの役員(審判員を含む)は会場撤収まで行ってください。
- 3 A **監督・コーチについて**
 - ① (公財)日本バドミントン協会へ登録済みの者で、
愛知県小学生バドミントン連盟へ、事前に加盟団体より指導者登録をした者とする。
 - ② アリーナ内では、指導者カード(吊り下げ名札)を必ず使用してください。
 - ③ コーチ席は1席とする。
 - ④ 誰がどの選手のコーチであるかの限定はしない。
 - ⑤ 公認審判員資格を有す
- B **監督・コーチも大会にふさわしい服装で室内用シューズを着用のこと。**
長ズボン、体育館シューズ着用のこと
※短パン、7分丈パンツ、バミューダ、ジーンズ、裸足、サンダル等は禁止
- C 競技場内への**携帯電話又はタブレット端末の持込禁止**。持ち込む場合は、
電源を切るか、マナーモードにする事。(競技場内では使用しない)
- 4 A 表彰は4位まで表彰状を授与する
- 5 A ア 競技中の怪我等の応急処置は主催者が行うが、それ以降の処置につ
いては1日スポーツ障害保険の規定範囲内での措置とし、以降の責任は負わない。
イ 選手の更衣は、更衣室で行うようにする。但し荷物は置かない。
ウ 体育館使用については、体育館利用規定に基づき、引率者は、体育館内の
選手・同行者の行動について十分注意し、指導・監督すること。
エ 競技場以外での事故については、主催者側は責任を負わない。
オ 体育館内では、体育館専用の運動靴を着用のこと。
カ 観客席に、忘れ物の無いようにお願いします。
キ ゴミ等は、必ず各自で持ち帰ること。
ク 駐車場でのウォーミングアップは、体育館より指導がありましたので、禁止します